



第23回
PFFスカラシップ
作品

やまねこの日

森が呼んだのだ。
「生きる」と。

空白の時を経て、二人が抱つた
亡き人々の想い、
深い森に抱かれて、
新たな生の始まりへ歩みだす



世界が注目する若き才能・鶴岡慧子(つるおかけいこ)監督 劇場デビュー作品

監督・脚本・鶴岡慧子 | 出演・木下美咲・泉澤祐希・植木祥平・中川真桜・田中要次・西尾まり・田中隆三

プロデューサー・丸野由月 | 編集・小川智 | 音楽・藤井洋之 | 録音・吉岡・伊野高志 | 美術・岡田(主) | 衣装・菅原(主) | 制作・PFF | 制作費・約1,000万円 | 上映日・2014年12月12日 | 上映時間・102分 | 上映地域・全国 | 上映回数・100回以上 | 上映地域・全国 | 上映回数・100回以上 | 上映地域・全国 | 上映回数・100回以上

yamaneko-movie.com



これは喪失を抱えて生きる、私たちの物語。 世界から注目を集める鶴岡慧子監督 劇場デビュー作

園子温、矢口史靖、李相日、荻上直子、内田けんじ、石井裕也など、日本を代表する映画作家たちを次々と発掘してきた“PFFスカラシップ”から、また大型新人が登場した！初長編『くじらのまち』がベルリン国際映画祭ほか世界10カ国以上で上映され、二作目『はつ恋』がバンクーバー国際映画祭ドラゴン&タイガー部門にノミネートされるなど、国際舞台でその才能を注目されてきた26歳の新鋭女性監督・鶴岡慧子、待望の劇場デビュー作品。

- 鶴岡監督作品『くじらのまち』『はつ恋』の海外映画祭での上映歴
- 第63回ベルリン国際映画祭(ドイツ)
 - 第17回釜山国際映画祭(韓国)
 - 第15回トローヴェル・アジア映画祭(フランス)
 - 第11回アジア映画祭(イタリア)
 - 第15回アムステルダム国際映画祭(オランダ)
 - 第15回アムステルダム国際映画祭(オランダ) 主演男優賞受賞
 - 第11回クエンカ国際映画祭(ペルー)
 - 第40回ゲント国際映画祭(ベルギー)
 - 第9回オーストラリア・ニュー・ジャバニース映画祭(ドイツ)
 - 第32回バンクーバー国際映画祭(カナダ)ドラゴン&タイガー賞ノミネート



あの人はなぜ、行ってしまったのだろう。
そして私はなぜ、ここにいるのだろう。
偶然に出会った二人が、互いの傷に寄り添い、
癒され、やがて見つけた「答え」とは――

都会の喧騒から逃れるように、幼少期を過ごした田舎町に向かった21歳の時子。いつかそこを出ていく日を待ちながら、孤独にキャンパスに向かう高校生の陽平。緑深い山の中、長年放置されていた小屋で偶然に出会ったふたりは、かけがえのない人を失った者同士、互いの気持ちに感応し、癒されていく。そして失われていた記憶が蘇る時、ふたりを取り巻く「死」の真実が明らかになる――。

木下美咲(『共喰い』)と泉澤祐希(『マッサン』『花燃ゆ』)のみずみずしい演技。 舞台は自然と人が共生する、日本の原風景のような長野県上田市。

アンニュイな魅力を持つ時子に扮するのは、『共喰い』のヒロインで脚光を浴びた木下美咲。高校生・陽平にはドラマ『マッサン』『花燃ゆ』等で強い印象を残した泉澤祐希。舞台は鶴岡監督の出身地であり、映画『サマーウォーズ』や来年の大河ドラマ『真田丸』のロケ地としても話題の長野県上田市。神秘的な山々と森林、のどかな田園地帯、生活感あふれる懐かしい家並みなど、日本の原風景を思わせるふるさとの描写は、誰しもの郷愁を呼び起こす。



“映画の新しい才能の育成”を目指し、PFF(ひびフィルムフェスティバル)が取り組んでいる、世界でも類のない“映画祭がトータルプロデュース”する映画製作支援システムです。PFFのコンペティション部門「PFFアワード」の入賞者に挑戦権が与えられ、企画コンペで選ばれた“最も将来を期待したいフィルムメーカー”のオリジナル作品を企画開発から製作、劇場公開、そしてDVD発売までをトータルプロデュースすることで自主映画監督のデビューを支援します。

9.19(土)ロードショー!

特別鑑賞券¥1,400(税込) 絶賛発売中! (当日一般¥1,800の他)
※劇場窓口で買い求めの方に、「特製やまねこトートバッグ」プレゼント!(限定数)

ユーロスペース
EUROSPACE

渋谷文化村前交差点左折
03-3461-0211 | www.eurospace.co.jp

